様式第３号（第２条関係）

震災時等における危険物　仮貯蔵／仮取扱い　実施計画書

年　月　日

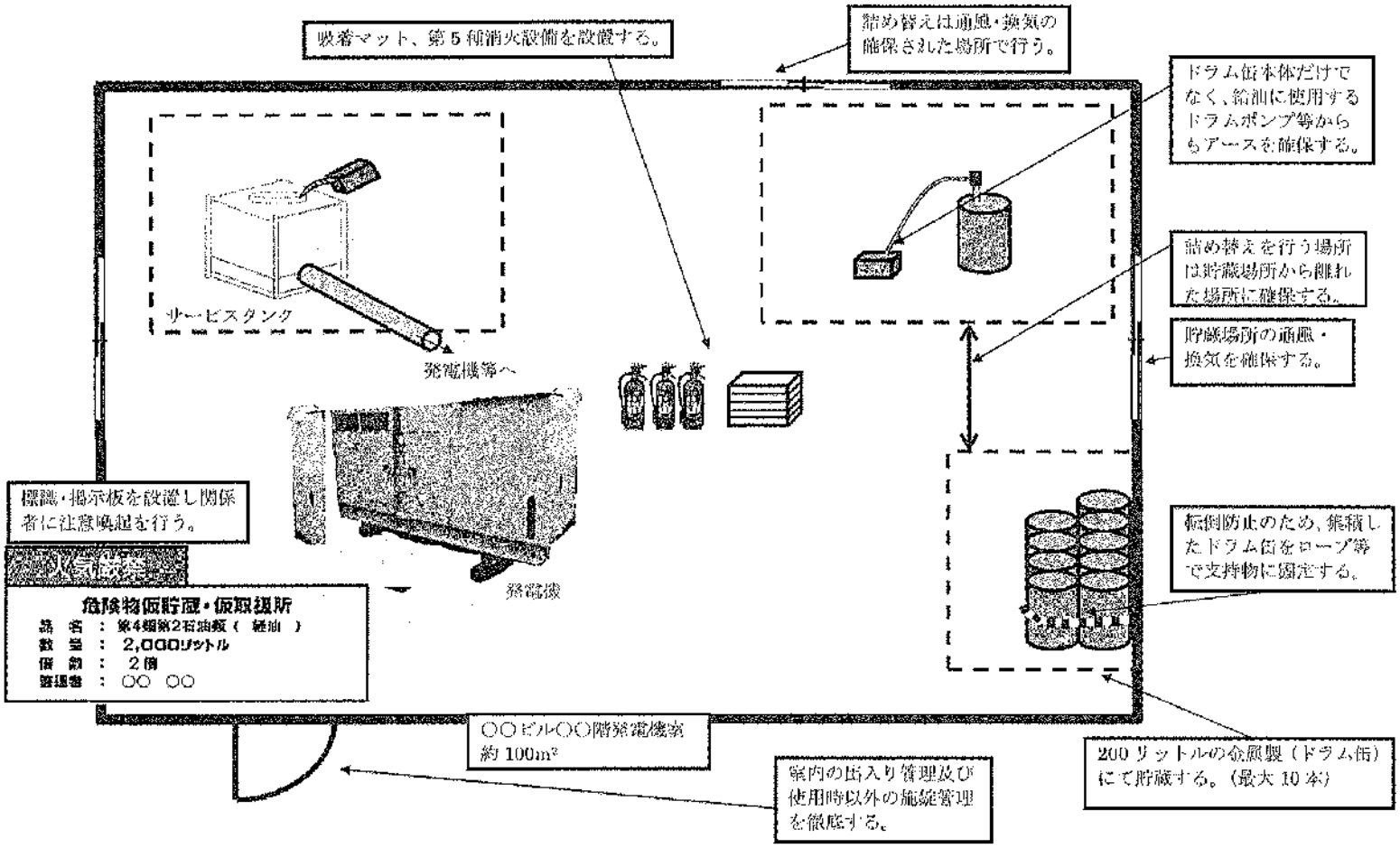
住所（法人にあっては、その主たる事務所の所在地）

届出者　氏名（法人にあっては、その名称及び代表者の氏名）

電話

仮貯蔵（仮取扱い）の目的		震災等により被災した建物において、長時間にわたり停電した場合に、発電機への燃料補給を行うことを目的とし、屋内の危険物施設等での一時的な貯蔵、ドラム缶から手動ポンプ等を用いて金属製携行缶からサービスタンクへの注油を行い、当該建物の電力を確保するため。				
仮貯蔵（仮取扱い）品名及び数量		第四類第２石油類（軽油）　〇〇リットル				
場所申請	地名地番					
	管理者氏名					
	敷地及び周囲の状況	別紙のとおり				
仮貯蔵及び仮取扱いに使用する建築物、工作物又は施設の状況	屋内	敷地面積　㎡	屋外	敷地面積　㎡		
		建築面積　㎡		空地その他		
		構　造				
危険物の貯蔵、容器、及び取扱い、管理の状況		1　200リットルの金属製容器（ドラム缶）にて貯蔵する。 2　貯蔵場所の通風・換気を確保する。 3　詰替えを行う場所は、貯蔵場所から離れた場所に確保する。 4　詰替えは通風・換気の確保された場所で行う。 5　標識・掲示板を設置し、関係者に次の事項について注意喚起を行う。（「危険物仮貯蔵、仮取扱い所」「品名・数量・倍数」「火気厳禁」） 6　転倒防止のため、集積したドラム缶をロープ等で支持物に固定する。 7　室内への出入り管理及び使用時以外の施錠管理を徹底し、いたずら・盗難を防止する。 8　作業前と作業後に点検を実施し、その結果を記録する。				
安全対策		1　ドラム本体、詰替えに使用するドラムポンプ及び金属製携行缶のアースを確保する。 2　吸着マット等危険物の流出時の応急資機材を準備する。 3　危険物の取扱いは、原則として危険物取扱者が行う。 4　危険物を取り扱う者は、静電安全靴を使用する。				
消火設備		第５種消火設備　粉末消火器〇本				
危険物取扱者		住所　　氏名				
その他必要事項		金属製携行缶による注油は、この場所以外で行わない。				

（注）　位置・構造・設備及び付近50m以内の公衆集合所、その他住宅等を記入した見取図を添付してください。

別図

仮貯蔵・仮取扱い実施計画書（ドラム缶等による燃料等の貯蔵、ドラム缶等から運搬容器への燃料等の小分け、ドラム缶等からタンクへの燃料等の注油の安全対策の例）